

授業展開例 第4課 地域を知って生活する

行動目標

地域の暮らしに必要な情報を得て、快適な生活を送ることができる。

チャレンジするタスク&学習項目

タスク	できること	学習項目
1 耳でキャッチ	施設を利用するのにわからないことがあったとき、職員の説明を聞き取ることができる。	1 お・ご～です／お・ご～でしょう 2 ～場合 3 ～ないことには～ない 施設の利用方法の説明でつかわれることば・表現
2 こんなときどうする？	困っていることを管理人に説明し、解決してもらえるように頼むことができる。	1 ～たいことがあるんですが 2 ～（よ）うとする 3 ～みたいなんですが／～ようなんですが 4 ～ていただきたいんですが 言い出しにくいことを言うときの表現
3 見つけた！	地域にある施設の利用案内を読んで情報を得ることができる。	1 ～には 2 ～にかかわらず／～にかかわりなく 3 ～次第 施設の利用案内でよく見ることば
4 伝えてみよう	よく利用する施設の様子や特徴（便利な点、設備…）などについて紹介することができる。	1 ～途中（で）／～途中（に） 2 ～を～として 施設のよさについて紹介するときの表現
5 耳でキャッチ	電話で道順をメモしながら行き方を知ることができる。	1 ～を背にして 2 ～に沿って／～に沿う／～に沿った道を案内するときを使うことば
知って楽しむ	公共の施設を上手に使おう	

【話してみよう】

p. 51 のイラストを見ながら、下のような質問をしていき、4課のテーマに学習者の興味を引き寄せていきます。

問いかけ例

- ・みなさんはどこに住んでいますか。
- ・住んでいる町には何がありますか。そこへ行ったことがありますか。利用したことがありますか。
- ・(イラストを見ながら) この町に何がありますか。何をするとところですか。

1 耳でキャッチ

タスクをする前の問いかけ例

- ・住んでいる町の図書館を利用したことがありますか。
- ・わからないことがあったとき、その人に質問したことがありますか。

p. 52 のイラストを見ながら、どんな状況だと思うかなど、学習者と話します。ここでは図書館の人に貸し出しカードを忘れたことについて質問している友達の話を横で聞いているという状況です。そのことを確認します。聞く前に、聞くポイント (p. 52 1 イラスト下、質問 1, 2) をおさえてから、CD を聞きます。状況文の中にある「貸し出し」は新出語彙です。

CD を聞いて、質問 1, 2 に答えてもらいます。その後で、もう一度 CD を聞きます。その際、内容や語彙・文型の意味など学習者が推測できるように問いかけながら、一緒に確認していきます。

問いかけ例

- ・貸し出しカードを忘れた女の人は、最初に何と言いますか。
↑「貸し出しカードを忘れてしまったんですが」の「～てしまったんですが」は『できる日本語 初中級』5課で既習です。
- ・「何かご住所やお名前がわかるものをお持ちですか」の「お持ちですか」はどんな意味だと思いますか。
↑「お持ちですか」はここでの学習項目です。使ってみようのところで詳しく学習しますが、この段階でどんな意味なのか推測してもらって注目を促します。
- ・「何かある？」は誰が誰に話していますか。どうしてそう思いますか。
↑ナタポンさんは友達の山口さんに話しかけているので友達言葉になっていることに注意を向けます。
- ・「カードがない場合、本人かどうか確認することになっています」の「本人」というのは？
↑新出語彙も学習者とやりとりをしながら理解を促します。「その人」、ここでは山口さんだということを確認します。
- ・「～ことになっています」はどういう意味ですか。
↑初中級第9課の学習項目です。学習者のレベルによってはここで確認しておくといいでしょう。
- ・いつ、本人かどうか確認することになっていますか。
↑「カードがない場合、～」の「場合」はどういう意味か推測を促します。
- ・本人かどうか確認するために、何があればいいですか。

↑学習者から「保険証、学生証、郵便物」を引き出して、新出語彙に注目するようにします。学習者から「自宅」や「郵便物」はどういう意味かと質問が出たら成功です。そのあとも教師が答えを言うのではなく、「自宅」の「自」は自分の「自」、「宅」は「家」の意味です、じゃ、「自宅」はどういう意味ですかといったように、簡単なやりとりを通して学習者自身で語彙の意味にたどり着けるようにもっていきます。

・「家に届いた郵便物でもかまわない」と言っていますが、「かまわない」はどういう意味だと思いますか。
↑これまで私たちの教室では「郵便物でもいいです」「郵便物でも大丈夫です」などという答えが出ました。

・今日、山口さんは本が借りられますか。それはどうしてですか。

↑「ご住所が確認できないことには貸し出しはできないんですよ」はどういう意味か確認していきます。チャレンジの段階で「貸し出しができない」ということは知っています。「～ないことには～ない」がこのタスクの学習項目です。「住所がわからないと貸し出しができない」という意味だということを学習者から引き出します。

この後、p.54 のスクリプトを見ます。学習者のレベルによってはスクリプトを見ながら再度、内容についてやりとりしていきます。

学習項目へ向けて

1. お・ご～です／お・ご～でしょう

図書館の人は、「何かご住所やお名前がわかるものを持っていますか」と聞くとき、何と言っているか問いかけます。学習者から出てきた文を板書して、意味と接続を確認します。その後、口頭練習に入ります。

(例)

- ・不動産屋さんへ行きました。不動産屋さんが最初に「どのようなお部屋をお探しですか」と言いました。これはどういう意味ですか。
- ・Lさんはコンビニでアルバイトをしています。おばあさんが店の中で、何か探しているようで、困っています。何と言って声をかけますか。
- ・L2さんは居酒屋でアルバイトをしています。お客さんに小さいお皿を使うかどうか聞いてください。

上のように、状況のキューや例文を出して、学習者とどんな意味か答えてもらったりこんな状況だったらどう言うかを考えてもらったりします。

この後、教科書の例文を読み、意味を確認します。

上の口頭練習の3つ目のような例やテキストの例文②を使って、本文での使い方「持っていますか」と違う「(これから)～ますか」という意味の例も紹介し、練習します。

2. ～場合

「この図書館ではどんなとき、本人かどうか確認しますか」と問いかけます。「～場合」がどんな意味かを学習者が推測できるように、問いかけながらやりとりをしていきます。

(やりとり例)

T : この図書館ではどんなとき、本人かどうか確認しますか。

L1 : カードがない場合……。

T : そうですね。「カードがない場合、本人かどうか確認します」というのはどういう意味ですか。
L 2 : カードがなかったら……
L 3 : 「カードがないとき、本人かどうか確認します」という意味です。
T : そうですね。

ここで「カードがない場合、確認することになっています」と板書して、接続を確認します。その後、口頭練習に入ります。「～場合」は学習者にとっては聞いたり見たりして理解する場面が多いので、まず、聞いて意味がわかるかどうかの練習をします。その後で、学習者が使用する場面を考えて使う練習をします。このように学習項目に合わせて口頭練習を工夫すると学習者の接触場面に合った練習をすることができます。

聞いて意味がわかるかどうかの練習をします。
下のような文を教師が言い、学習者にどんな意味かを聞きます。

(例)

- ・学校を休む場合、先生に連絡してください。
- ・熱が下がらない場合、この薬を飲んでください。
- ・20名以上の場合、団体割引になります。

使う練習をします。
学習者が使用する場面を考えた練習のやりとり例です。

(やりとり例)

T : (印鑑を押すジェスチャーをして) これは何ですか。
L 1 : 市役所や銀行で使います。
T : そうです。何ですか。
L 1 : ……
L 2 : いんかん？
T : はい、そうです。みなさんは市役所へ行きました。市役所の人に「印鑑お願いします」と言われましたが、印鑑がありません。そのとき、市役所の人に何と言ったらいいですか。
L 3 : 印鑑がありません、場合、どうしたらいいですか。
L 2 : 印鑑がない場合、どうしたらいいですか。
T : いいですね。

このように口頭練習をしてから、p. 54 の例文を読みます。その後、ワークシートなどで書く練習をします。その際、「～とき」との違いなども確認するといいいと思います。

3. ～ないことには～ない

「どうして山口さんは今日、本が借りられませんか」と問いかけます。その後、学習者が「～ないことには～ない」に注目できるように、やり取りをしていきます。

(やりとり例)

T : どうして山口さんは今日、本が借りられませんか。

L 1 : 住所がわからないことには、貸し出しはできません。

L 2 : 住所がわからないからです。

T : そうですね。「住所が確認できないことには、貸し出しはできません」というのはどういう意味ですか。

L 2 : 住所が確認できないと……

L 3 : 「住所が確認できなければ、貸し出しできません」という意味です。

T : はい。

ここで「住所がわからないことには、貸し出しはできません」と板書して、接続を確認します。その後、口頭練習をします。

(例)

- ・「アルバイトしたいな。でも、面接に行きたくないな」と言っている友達があります。その友達にアドバイスしてください。何と話しますか。
- ・宝くじを買っていないのに、「宝くじが当たったら何を買おうかな」と言っている友達があります。その友達にアドバイスしてください。何と話しますか。

この後、p. 54 の例文を読みます。ワークシートなどを使って書く練習をすると、さらに理解が深まります。します。

>>>施設の利用方法の説明で使われることば・表現

学習者と一緒に意味を確認します。ことばはマッチング形式のクイズで意味を確認することもできます。「～ことになっています」などの表現は、下のような例文を提示するとわかりやすくなります。

(例文例)

「利用したい人は、まず申し込み用紙に名前と連絡先を書いていただくことになっています」

「登録すれば、今日からすぐ使うことができます」

「使用料のお支払いは当日で結構です」

「印鑑がなければサインでもかまいません」

「当日、身分証明書を持ってくるのを忘れないように気を付けてください」

やってみよう

「公民館の会議室を借りるのは何のためだと思いますか、そういう経験がありますか」などと問いかけ、このタスクの状況を共有します。それから、CDを聞きます。もし自分だったら最初に職員に何というか考えてから始めるのもいいと思います。CDを聞いたあと、次のような点について聞き取れたかどうか確認します。

- ・会議室を利用する場合、何をしなければなりませんか。
- ・利用者登録をするとき、何が必要ですか。
→「西川さんの住所（連絡先）と本人かどうか確認できるものが必要」であることがわかればいいと思います。住所は全員ではなく「代表の方だけがかまいません」と言っていますが、「代表」は未習語彙なので、どんな意味か推測を促しま

す。

- ・登録のあと、何をしますか。

また、学習者が申し込みに行った人の立場になって職員の発話に対応できるかを、CDを使ってやり取りしてみることもできます。たとえば、職員の「利用者登録はしてありますか」のところでCDを止めて、「はい、何と言ったらいいですか」と教師が問いかけ、学習者の発話を促します。「こちらの申込書に記入してください」、「ご本人かどうか確認できるものをお持ちですか」と、実際に施設の職員とやり取りする場合の練習にもなり、学習項目の確認にもなります。

② こんなときどうする？

タスクをする前の問いかけ例

- ・どんなところに住んでいますか。
- ・生活をしていて困ることがありますか。そんなときどうしていますか。
- ・隣の部屋の人がうるさくて困るとき、どうしますか。

困っていることを管理人さんに説明して、解決を依頼することにチャレンジします。チャレンジする前に、指示文やロールカードの内容をしっかりと理解してからスタートします。指示文にある「管理人」「解決 - する」は新出語彙です。それから、この「こんなときどうする？」には、会話を始める前に聞くCDがあります。これを聞いて、その続きの会話にペアでチャレンジします。

ペアで話した後、代表ペアが発表します。よかった表現やどう言ったらもっと良かったかなどを学習者に話してもらい、全体で共有します。それから、会話のサンプルのCDを聞き、自分たちが言ったのと同じ表現があったか、もっといい表現があったか、これから使いたいと思ったものがあったかなどをお互い話します。その後、会話のサンプルのCDをもう一度聞いたり、スクリプトを見たりして、学習者に問いかけながら、内容を確認していきます。ここではやりとり例を紹介します。

(やりとり例)

- ・「～たいことがあるんですが」に注目してもらおうためのやりとりです。🎧 は複数の学習項目が一緒に使われているものです。言い出しにくいことを言うときの、前置きの表現だということ確認します。

T : 最初にアンナさんは何と管理人さんに言いましたか。

L 1 : あのう、ちょっとご相談したいことがあるんですが……。

T : はい。そうですね。アンナさんは管理人さんに何を話に来ましたか。

L 2 : 隣の部屋の音のことを話に来ました。

T : そうですね。でも、最初に「隣の部屋から大きな音が聞こえてきます」と言いませんでしたね。
「相談したいことがあるんですが……」と言いました。どうしてこう言ったと思いますか。

L 3 : 管理人さんがびっくりしますから。

T : そうですね。

- ・下のようなやりとりを通して、「～（よ）うとする」に注目してもらいます。

T : 隣の部屋から大きな音が聞こえるのはいつですか。

L 1 : 毎晩です。

T : ゆうべも聞こえてきましたか。
L 2 : はい、ゆうべも聞こえてきました。
T : 「ゆうべ」はいつですか。
L 3 : 昨日の夜……
T : そうです。ゆうべも勉強しようとしたら、大きな音が聞こえてきました。
「勉強しようとしたら」は、もう勉強をしていますか。
L 4 : 「勉強しよう」だから、勉強する前ですか。
T : そうです。これから勉強をします。

・下のようなりとりを通して、「～みたいなんです」に注目してもらいます。

T : アンナさんは、隣の人は何をしていますか。
L 1 : 「音楽を聞いているみたいなんです……」と言いました。
T : どうして「みたいなんです…」と言いましたか。隣の人が音楽を聞いていますよね。
L 1 : はい……、でも、はっきりわかりませんから？
L 2 : でも、アンナさんは隣の部屋から大きい音が聞こえてきます、と知っています。
L 3 : うーん……
T : そうですね。アンナさんは隣の部屋の人がうるさいと思っていますね。でも、「隣の人が音楽を聞いています」とはっきり言いません。どうしてだと思いますか。
L 2 : 隣の部屋の人に悪いです……。
L 3 : はっきり言うと強いです。

⋮

・「～ていただきたいんですが」に注目してもらいやりとりをします。

T : アンナさんは管理人さんから隣の人に話してほしいです。何と言っていますか。
L 1 : 管理人さんから話していただきたいんですが……
T : そうですね。「話していただきたいです」と「話していただきたいんですが」はどう違いますか。
L 2 : 言いにくい気持ち……
T : はい。「いただきたいんですが」の方が言いにくいことを丁寧をお願いするときに、使います。「できたら」も一緒に使うと、もっとお願いしたい気持ちが伝わりますね。

このように内容や語彙・文型の意味などを学習者に推測を促しながら、確認していきます。

この後、p. 55 を開いて会話のサンプルを見ます。学習者のレベルによってはサンプルを見ながら再度、内容についてやりとりしていきます。

それから、声を出して会話のサンプルを読む練習をします。ペアで読んだり、リピートしたりします。

学習項目へ向けて

1. ～たいことがあるんですが

最初に「アンナさんはどんな言葉から話し始めましたか」と問いかけます。学習者から出てきた文を板書して、意味と接続を確認します。その後、口頭練習に入ります。

(やりとり例)

- T : お願いしたいことがあるとき、最初に何と声をかけますか。
L1 : お願いしたいことがあるんですが……。
T : 聞きたいことがあるときは何と言ったらいいですか。
L2 : 聞きたいことがあるんですが。
T : いいですね。もし自分より上の人に言いたいとき何と言ったらいいですか。
L3 : お聞きします……
L2 : お聞きしたいことがあるんですが。
T : いいですね。じゃ、p55 の例文を見てください。

教科書の例文②の「伺う」は新出語彙です。「伺う」の意味を学習者に問いかけ、推測を促します。

2. ～(よ)うとする


「昨日、いつ大きな音が聞こえてきましたか」と問いかけます。そして、「勉強しようとしたら、大きな音が聞こえてきました」を板書して、意味と接続を確認します。その後、口頭練習をします。下の例は状況です。下のような状況のとき何と言ったらいいか問いかけます。

(例)

- ・「ゆうべ寝る準備をして、布団に入りました。そのとき、隣の部屋から大きな音が聞こえてきました」そのことを管理人さんに話したいです。何と言ったらいいですか。
- ・「Lさんは毎朝、起きたとき、窓を開けます。昨日、窓を開けると、窓ガラスが割れているのに気がつきました」そのことを管理人さんに話したいです。何と言ったらいいですか。
- ・「Lさんはアパートの自転車置き場に自転車を置いています。昨日、自転車を置くとき、隣の自転車が倒れて、植木鉢が割れてしまいました」そのことを管理人さんに話したいです。何と言ったらいいですか。

p. 55 の例文を読んで、意味を確認します。その際、③④は「試み」の意味で、本文の意味とは違うことを紹介してください。それから、ワークシートで書く練習をする際に、「～ようとする」以外の「～ようとした」「～ようとしている」「～ようとしていた」の例も提示しています。

3. ～みたいなんですが／～ようなんですが 

この学習項目も  の項目です。「～みたいですが／～ようですが」は『できる日本語 初中級』の第10課で既習です。

(やりとり例)

- T : アンナさんは隣の部屋で音楽を聞いていると思っていますが、それをどんな言い方で管理人さんに伝えましたか。
L1 : 「音楽を聞いているみたいなんですが……」と言いました。
T : そうですね。

学習者から出てきた文を板書して、意味と接続を確認します。この後、口頭で状況を言って、どう言うか練

習していきます。

(例)

- ・今、Lさんの部屋のドアの前に自転車が置いてあります。自分の自転車が置けないので、困っています。たぶん隣の部屋の人の自転車だと思っていることを管理人さんに言うとき、どう言いますか。
- ・Lさんの上の階に住んでいる人のベランダにはいつもゴミが置いてあるので、臭いです。Lさんは2階の人はゴミを捨てる日を知らないと思っています。管理人さんにどう言いますか。
- ・Lさんの隣に住んでいる人がドアを開けるとときや閉めるとき、大きい音がします。Lさんは隣の人はこんなに大きい音がしていると気がついていないと思っています。管理人さんにどう言いますか。

例文の①の「取り換えときますね」の「～ときます」が「～ておきます」の縮約形であることは確認が必要です。

4. ～ていただきたいんですが

次のようなやりとりをします。『できる日本語 初中級』第2課で「～てもらえませんか」、『できる日本語 初中級』第5課で「～していただけませんか」は既習です。

(やりとり例)

T : アンナさんは管理人さんから隣の人に話してほしいですが、ちょっといいにくいです。どんな言い方でお願いしましたか。

L : 「できたら、管理人さんから話していただきたいんですが……」と言いました。

学習者から出てきた文を板書して、意味と接続を確認します。この後、口頭で状況を言って、どう言うか練習します。

(例)

- ・隣の部屋の人がいいつもゴミを出す日を間違えています。管理人さんに注意してほしいと思っています。管理人さんに何と言いますか。
- ・学校の宿題で新聞記事を集めることになりました。管理人さんのところにある1か月分の新聞を見せてほしいと思っています。管理人さんに何と言いますか。
- ・最近、シャワーを使うとき、出る水の量が多くなったり少なくなったりします。管理人さんに見てもらいたいと思っています。管理人さんに何と言いますか。

>>>言い出しにくいことをいうときの表現

アンナさんははじめに管理人さんに声をかけるとき、どんな表現を使っていたか、など問いかけて、「言い出しにくいことを言うときの表現」を確認します。

やってみよう

学習者に何か困っていることがあるかを問いかけます。困っている状況を学習者同士で話し合い、その状況を使うと、現実感が増します。これまで、私たちの教室では、隣の部屋のベランダにごみが置いてあって臭い、同じアパートの人のごみの出し方がよくない、アパートの入り口の前に誰かの自転車が置いてあって通りにくい、などの例が学習者から出ました。

③ 見つけた！

タスクをする前の問いかけ例

- ・最近、運動をしていますか。
 - ・スポーツセンターなどを利用したいと思ったらどうしますか。
 - ・ホームページや情報誌などを見たとき、どんな情報がほしいですか。
- 学習者からは「どんなことができるか」「どうやって利用するか」「誰でも使えるか」「いくらかかるか」などが出てきました。じゃあ、その情報を探してみよう、と言って、p.53のホームページの画面を読んでもいいと思います。

p.53を見て、タスクの状況を共有します。それから、このスポーツセンターではどんなことができるか、誰でも使えるか、などについて、さらに、チャレンジページの質問1、2について情報を取ることにチャレンジします。そのあと、下のようなやりとりをしながら答えを確認していきます。

(やりとり例)

- ・新出語彙も既習の漢字や語彙の知識を生かせるようなやりとりをして、学習者に意味の推測を促すことができます。

T : トレーニングルームはどんな人が利用できますか。

L 1 : 市内に在住……。

T : そうですね。(「在住」と板書し、「住」の部分を指す)

L 2 : あー、住んでいる人……

L 3 : 市内に住んでいる人が利用できます。

T : はい、そうです。それだけですか。

L 3 : 「在学」は……

L 1 : 「学」は学校…… 学生……

L 2 : 学校に行っている人ですか。

T : そうですね。では、「在勤」はどういう意味だと思いますか。

L 3 : ……。

T : 「勤」は「働きます」の意味です。じゃ、「市内に在勤」はどういう意味ですか。

L 1 : 市内の会社で働いている人です。

T : はい、そうです。

- ・「～には」に注目します。

T : トレーニングルームを利用したいです。利用するためには、何をしなければならないと書いてありますか。

L 1 : 講習を受けます。

L 2 : トレーニングルームを利用するには、講習を受けてください、と書いてあります。

T : そうですね。「利用するには」はどういう意味だと思いますか。

L 3 : 「利用するために」ですか。

T : そうですね。

- ・「有無」は新出語彙ですが、漢字が既習の場合は漢字から推測を促すことができます。

「～にかかわらず」はここでの学習項目です。

T : トレーニングルームを初めて利用します。講習を受けなければなりませんか。

L 1 : はい。「講習は必ずお受けください」と書いてあります。

T : そうですね。「ご利用経験の有無」というのは、どういう意味だと思いますか。
漢字を見てください。

L 2 : 利用経験が「あります」と「ありません」……

T : はい、そうですね。「ご利用経験の有無にかかわらず、講習は必ずお受けください」というのは
どういう意味だと思いますか。

L 3 : 利用したことがあっても、なくても……

L 1 : どちらでも、講習は必ずお受けくださいという意味です。

T : はい。

・学習項目「～次第」に注目してもらったりりです。

T : 空手、テニス、バレーボール、各 20 人の「各」って何だと思いますか。

L 3 : それぞれ。

T : そうです。定員が 20 人ですね。じゃ、いつ受付が終わると書いてありますか。

L 2 : 定員になり次第……

T : はい。

L 1 : 定員になったら終わります、という意味ですか。

T : はい。定員になったらすぐ、受付が終わります。

学習項目へ向けて

1. ～には

次のようなやりとりをします。

(やりとり例)

T : トレーニングルームを利用したいと思っています。何をしなければならないと書いてありますか。

L 1 : 講習を受けなければなりません。

L 2 : トレーニングルームを利用するには、講習を受けてくださいと書いてあります。

学習者から出てきた文を板書して、意味と接続を確認します。その後、口頭練習に入ります。

(例)

- ・友達が図書館の貸し出しカードを作りたいけど、何が必要かわからないと言っています。身分証明書が必要なことを話してください。
- ・友達が公民館の料理教室に参加したいと言っています。窓口に参加申し込み書を出すことが必要なことを話してください。
- ・友達がサッカーのコートを借りたいと言っています。区のサッカーコートを借りるとき、名前や住所の登録が必要なことを話してください。

この後、p. 56 の例文を読みます。ワークシートなどを使って練習してもいいです。その際、日本語の学習

方法などについて、アドバイスする練習を取り入れると、授業が楽しくなります。

2. ～にかかわらず／～にかかわりなく

「トレーニングルームを利用したことがあるので、講習は受けなくてもいいですか」などと問いかけます。そして、学習者から出てきた文を板書して、意味と接続を確認します。

p. 56 の例文を読んで、一緒に使う語彙（*の注）を確認したあとで、ワークシートなどで、文を作る練習をします。

「～にかかわらず」のような否定の意味の「～ず」はここが初めてです。

(例)

- ・このスポーツは何歳でも楽しめます。どう言えばいいですか。
- ・フットサルを他の人にも勧めたいです。男性でも女性でも楽しめる簡単なスポーツだと言いたいとき、どう言いますか。
- ・週末のテニスの試合は天気に関係なく行われるということ、他のメンバーに伝えるとき、どう言いますか。

3. ～次第

スポーツ教室の受け付けはいつ終わるか問いかけ、学習者から出てきた文を板書して、意味と接続を確認します。ホームページに書かれた文章で使われていることから、少し改まった表現であることを確認します。

p. 56 の例文を読みます。例文③の「到着し次第」のように「～する」の動詞に続く場合、「し」が聞こえない場合もあるようです。それから、ワークシートなどで、文を作る練習をします。

>>>施設の利用案内でよく見ることば

学習者と一緒に意味を確認します。マッチング形式のクイズにしてもいいと思います。また、実際の利用案内の中でここにあることばが使われているのを見ていくこともできます。

やってみよう

スマートフォンやパソコンなどで、地域にある施設を検索して、ホームページの利用案内を見てもいいですし、学習者が興味を持ちそうな施設（スポーツセンター、図書館、博物館など）の利用案内を教師が予め用意してもいいと思います。読み取ったことをクラスで共有していきます。

4 伝えてみよう

利用している施設について周りの人に紹介するタスクです。教師とのやりとりで、施設のいいところ、特徴などについて話すように促します。その後、グループに分かれて紹介し合います。

指示文の中の「様子」「特徴」は新出語彙です。

サンプルを聞いて、この人はどんな施設を紹介したか、その施設の特徴は何かなどについて、確認していきます。それから、もう一度サンプルを聞いたり見たりしながら、内容や語彙・文型の意味などを確認していきます。

(やりとり例)

・「～途中」はこの学習項目です。

T : この人は公民館にいつ行きますか。

L 1 : 学校からうちへ帰るとき……

L 2 : 学校と家の間……

T : 「学校から帰る途中、寄ってみます」はどういう意味だと思いますか。(学校、家、公民館の位置関係を板書していく)

L 2 : 学校と家の間に公民館があります。

L 3 : 学校から帰るとき、公民館へ行きます。

T : そうですね。

・「～を～として」に注目してもらうためのやりとりです。

T : 描いた絵などを飾るところをギャラリーと言います。この公民館にはギャラリーがありますか。

L 1 : ……

L 2 : ありません……

T : はい、この公民館にギャラリーはありません。では、地域の人の絵などを飾って見せるとき、どこを使っていますか。

L 1 : ロビーを使っています。

T : そうです。ロビーをギャラリーとして使っています。ときどきロビーがギャラリーになります。

学習項目へ向けて

1. ～途中(で) / ～途中(に)

「この人が公民館へ寄るのは、いつですか」と問いかけ、学習者から出てきた文を板書して、意味と接続を確認します。

p. 57 の例文を読みながら、「経路の途中」や「時間の途中」、また「途中で」「途中に」の助詞の使い方、例文④のように助詞がない場合についてもおさえていきます。それから、口頭やワークシートで練習をしています。

2. ～を～として

次のようなやりとりをします。

(やりとり例)

T : この公民館のギャラリーがありますか。

L 1 : いいえ、ありません。

T : では、地域の人の作品を展示するときは、どうしていますか。

L 2 : ロビーをギャラリーとして使います。

T : そうですね。

学習者から出てきた文を板書して、意味と接続を確認します。

口頭やワークシートで、文を作る練習をします。

p. 57 の例文を読みます。例文③のように抽象的な名詞を使う例もあるので、ここで紹介します。

>>>施設のよさについて紹介するときの表現

利用している施設を紹介した学習者に、「どんな人が利用できますか」「何が置いてありますか」などと、問いかけていきます。その答えをここに出ている表現を使って言えることを紹介していきます。

やってみよう

サンプルや使ってみようを通して、学んだことや気付いたことを生かして、もう一度話してもらいます。クラスメイトが利用している施設を紹介する冊子にすることもできます。

5 耳でキャッチ

(タスクに入る前の問いかけ例)

- ・施設に行きたいのですが、場所がわからないときどうしますか。電話をして聞いたことがありますか。
- ・電話で場所を聞くとき、どんな言い方をしますか。

文化センターへ行きたいが場所がわからないので電話をして聞いているという状況を確認してから、CDを聞きます。そのとき、地図は見ないで聞きます。実際に問い合わせをするとき、頭の中で道順のイメージを作りながら聞くのと同じだと気付いてもらいます。CDを聞き終わったら、p.59の地図を見て、文化センターの場所を答えます。そして、どうしてわかったかを話してもらいます。

もう一度CDを聞く前に、行き方の説明を聞くときどんなことに注意して聞いたらいいと思うかを学習者にたずねます。目印になる建物などに注目して聞くといった答えが学習者から出てから、CDを聞くといいと思います。

その後、CDを聞きながら、内容や語彙・文型の意味などを確認していきます。

この地図を拡大コピーして前に貼って、学習者と一緒に見ながら確認していくのもいい方法です。

(問いかけ例)

- ・パクさんは文化センターへの行き方を聞くとき、最初に何と言いましたか。
↑道を尋ねる言い方を思い出してもらいます。他の言い方が学習者から出た場合は、それも取り上げるといいと思います。
- ・職員が最初に「どちらからいらっしゃいますか」と聞きました。それはどうしてですか。
↑パクさんがどこから来るかを確認するための質問だということに気づいてもらいます。
- ・パクさんが「北口ですね」と言っていますが、どうしてそう言ったと思いますか。
↑説明を聞く側が相手の言ったことを「～ね」を用いて確認していることに注目するように促します。
- ・職員が「駅を背にして、スーパーと本屋の間の道をまっすぐ歩いて来てください」と言いましたが、「駅を背にして」というのはどういう意味だと思いますか。
↑「背」(＝背中の意)は新出語彙です。「背」の意味を確認してから、「～を背にして」の意味を推測してもらいます。「～を背にして」はこの学習項目です。
- ・職員が「その先に川があります」と言いましたが、「その先に」はどういう意味だと思いますか。
↑「先」は新出語彙です。時間の「先」ではなく、話者が進んでいく方向を表していることを確認します。

- ・職員が「川に沿って200メートルぐらい歩くと、右に灰色の建物が見えます」と言いました。(地図を指しながら)「川に沿って」はどういう意味だと思いますか。

↑地図の川に沿った道を指さしながら、「～に沿って」の意味を確認します。「～に沿って」はこの学習項目です。

- ・文化センターの近くにコンビニはありますか。どこにありますか。

↑「斜め前」の「斜め」は新出語彙なので、学習者から「斜め」が出てくるのは難しいと思いますが、ジェスチャーなどで答えると思います。それを「斜め」だと伝えてください。

ここは「耳でキャッチ」ですが、学習者が道順を説明するときの会話のサンプルにもなるので、読む練習をすると思います。道順を聞く側は「～ですね」と頭の中のイメージを確認しながら話すこと、説明する側は地図を見ずに聞いている相手が理解しやすいスピードで話すことを意識して練習すると思います。

学習項目へ向けて

1. ～を背にして

次のようなやりとりをします。

(やりとり例)

T : 職員さんが「駅を背にして、スーパーと本屋の間の道をまっすぐ歩いて来てください」と言っています。パクさんは駅を背にして立ちます。パクさんの後ろに何がありますか。

L1 : 駅があります。

T : どうしてわかりますか。

L2 : 「駅を背にして」と言っています。

T : はい。

上のようなやりとりをします。板書して、意味と接続を確認します。

拡大した地図を貼って、それを見ながら目的の場所への行き方を説明する口頭練習をします。

p. 58の例文を読みます。それから、ワークシートなどで、文を作る練習をします。

2. ～に沿って／～に沿う／～に沿った

下のようなやりとりをします。

(やりとり例)

T : (地図の上で橋を渡ったあたりから川沿いを指しながら) どのように歩くと、灰色の建物が見えてくると言いましたか。

L1 : 川に沿って、200メートルぐらい歩くと…。

T : はい。

板書して、意味と接続を確認します。

p. 58の例文を読みます。例文②③は「方針、希望などから離れないように」という意味です。

その後、イラストや地図を使って口頭練習します。また、ワークシートなどで、文を作る練習をします。

>>>道を案内するときに使うことば

イラストを用意して、ことばの意味を確認します。その際、マッチング形式のクイズにしてもいいと思います。

やってみよう

地図を見ないでCDを聞きます。そのあとで、聞いた説明を思い出して図書館の位置を地図上で確認します。余裕のあるクラスでは、図書館やそのほかの場所の行き方を駅前から来ようとしている人に説明する練習をすることもできます。

【知って楽しむ】

「市や区の図書館やスポーツセンターのいい点はどんなところだと思いますか」などと学習者に問いかけてみます。また、p.61のイラストについて、「どこでできると思いますか」などと問いかけてみるのもいいと思います。それから、「じゃあ、どんないい点があるか、どんなことができるかを探しながら読んでみましょう」と言って、読んでもらいます。タイトルにある「公共の施設」の「公共」は新出語彙です。

読んだ後で、国にいるときにはどんな公共の施設を利用していたか、どんな特徴があるか、どんなことができるかなど、紹介してもらいます。

【できる！】

学習者にしてみたいことを聞きます。たとえば、これまでには運動がしたい、楽器の練習がしたい、料理や陶芸を習いたいなどという希望が出てきました。住んでいる市や区のホームページやお知らせを見て、自分がしたいと思うことができる施設を学習者自身が調べます。そして、実際に行ってみます。体験を教室で報告し合います。これまでには、クラスメイト同士一緒に行くということもありました。